

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 4 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	入居者様の生活状況について把握頂けてない家族様が居られる事が、アンケートの情報から見られた。面会時、月1回の報告などで理解して頂き共に入居者様を支えていると自負していたが、一部にしろ思いの届かない面があったことを問題点とする。	家族様との関係を100%の状態に保つのは不可能としても、入居者様に穏やかで活気のある生活を維持して頂くために今まで以上にホームへの理解と関わりを持って頂けるようにしていく。	入居者様の近況を書面だけでなく、面会の機会を増やして頂けるよう、口頭にてお願いしたり、近況報告を面会の少ない家族様には月一回から数回に増やしてみたりして理解度を高めていく。	早期実現
2	26	スタッフのケアプランへの理解度、取り組み姿勢が目標とするところまで達していない『状況(一部スタッフ)』	ケアプランについてスタッフ全員がモニタリング、アセスメントを理解し、実践していき	アセスメント実施、モニタリング実施など実践を通して指導を行ってスタッフ全員のレベルアップを図る。	3～6ヶ月
3	33	高齢化、重度化が進む中、看取りについてはこれからの避けられない課題である。	家族の理解、スタッフのモチベーションなど課題は多いが、できる限り本人、家族の意向に沿った方針でいきたい。	スタッフ全員が状況に対応できる様、多様面での質の向上、情報共有などを研修、勉強会などを実施していく。	3～6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。